

## 1 労働災害発生状況<平成30年1月末現在>

平成29年(平成30年1月末時点速報値)の死傷者数は460人で、対前年同期比28人(6.5%)増加しました。

### 主要業種別内訳(発生人数順)

業種	対前年同期比	
商業	83人	5人(6.4%)増
建設業	71人	2人(2.7%)減
運輸交通業	61人	7人(13.0%)増
製造業	60人	6人(9.1%)減
保健衛生業	41人	7人(20.6%)増
林業	14人	4人(22.2%)減

### 事故の型別(発生人数順)

事故の型	構成割合
転倒	152人(33.0%)
墜落・転落	73人(15.9%)
動作の反動・無理な動作	42人(9.1%)
交通事故	39人(8.5%)
はさまれ・巻き込まれ	37人(8.0%)
切れ・こすれ	29人(6.3%)

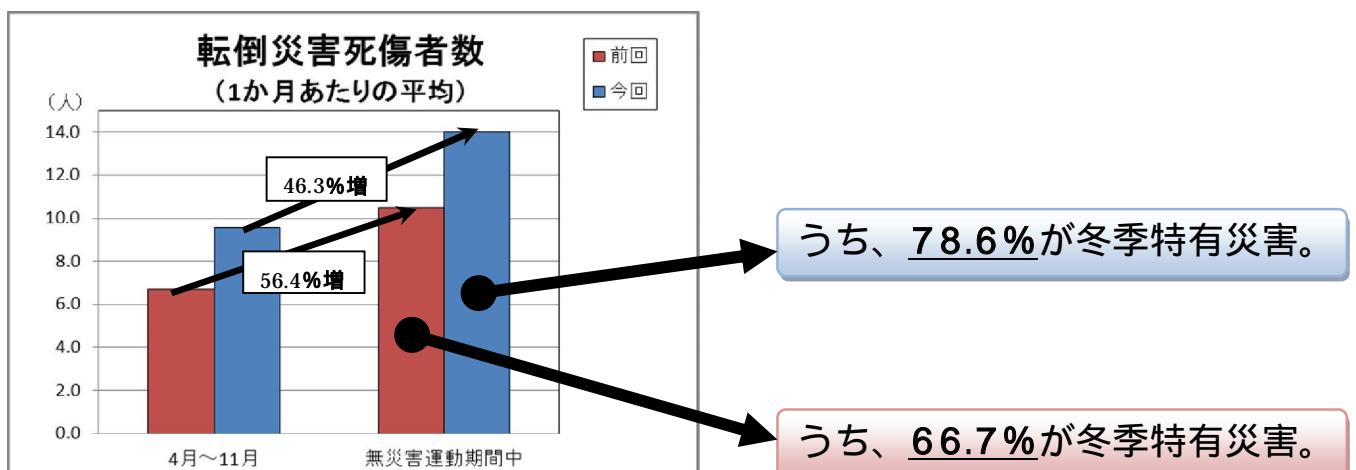
## 2 いわて年末年始無災害運動期間中の状況について

平成29年12月1日から平成30年1月31日にかけて実施してまいりました、いわて年末年始無災害運動について、御協力いただきありがとうございました。

今冬は数年に一度の寒波が到来しました。平成29年12月中の盛岡市の平均最高気温・平均最低気温が、いずれも前年を下回り、また、11月の平均との比較でも、気温の落差が前年同期より大きく、急激に寒くなったと実感されたことかと思えます。

転倒災害に関しては、前年同様、無災害運動期間中は約1.5倍に増加いたしました。特に12月上旬は、事業場敷地内の除雪・融雪対策を準備している矢先に転倒災害が発生してしまったケースが見受けられました。やはり、早期の準備・対策が重要と考えられます。

路面が凍結しやすい時期はまだ続くものと思われまます。気象情報の確認、転倒危険箇所の洗い出し、冬用の履物着用と耐滑性の点検実施を教育するなど、引続き取組の継続をお願いします。



上記統計の数値は、平成29年1月末及び平成30年1月末の時点における速報値。

冬季特有災害とは、冬季の気象条件(積雪や路面凍結)が要因となった災害のこと。